

交野市公共施設等再配置計画について

企画財政部秘書政策課

1. 趣旨

- 公共施設等再配置計画は、「公共施設等総合管理計画」に基づき、具体的な施設再配置の方向性及び実行プランを示すもの。
- 現在の再配置計画は平成30年2月に策定された令和9年度までの10年計画であるが、今般、市役所本庁舎の耐震化・設備改修を進めるにあたり、所要の整理・見直しを図るもの。

2. 時点修正の方向性

① 基本的な考え方は維持

- 現計画における「施設再編の方向性」、「保全方針」等の基本的な考え方は維持する。

② 本庁舎の耐震改修に係る整理と関連項目の見直し

- 現計画が示す各取組みは、本庁舎の長寿命化が困難であることを起点として、方向性を整理したもの。
- 今回の時点修正は、本庁舎の長寿命化が可能との調査結果に基づき、改めて「保全方針」に照らし整理を進め、関連する項目とあわせて見直しを行うもの。

3. 本庁舎の耐震改修との関係

- 現計画では、長寿命化が可能な施設は、必要な修繕を行い、目標耐用年数まで使用することが基本とされている。また、市役所本庁舎は耐震安全性が確保されておらず、対策を最優先に考えたとされている。
- 今般の本庁舎耐震改修は、現在の財政状況を踏まえた上で、優先的な課題である耐震安全性を確保するための取組みであり、現計画が課題解決の手法として示す「庁舎の集約化・複合化」の将来的な方向性を否定するものではなく、整備の時期を後年にずらすもの。
- 今回の時点修正の過程（パブリックコメント等）で出た意見については、必要に応じて本庁舎耐震改修へのフィードバックを行う。

4. 今後の動き

令和7年	～4月頃	● 改定内容の精査、パブコメ案の作成
	5月頃	● 所管事務調査(2回目:パブコメ案の説明)
	6月頃	● パブリックコメントの実施
	7月頃	● 所管事務調査(3回目:パブコメ結果報告) ● 時点修正版の成案化